

令和8年6月23日
公益財団法人環境科学技術研究所

理事（理事長）選任に係る透明性の確保について

公益財団法人環境科学技術研究所（以下「研究所」という。）は、この度、有能で実績のある人材の確保を広く募るとともに、理事（理事長）の選任までの透明性を確保するため、理事（理事長）候補者の公募を行いました。研究所は、外部委員を含む理事候補者選定委員会を2度開催し、書類審査、面接を経て理事（理事長）候補者1名を選考しました。

選考された候補者は、令和8年6月22日に開催した令和8年度定時評議員会において評議員全員一致で理事として選任され、同日に開催された令和8年度第2回理事会において、理事長に選定されました。

1. 選考過程

令和8年3月16日～令和8年4月17日まで、理事（理事長）の公募を行ったところ、1名の応募がありました。

令和8年4月24日開催の第1回理事候補者選定委員会において書類審査を行い、続いて令和8年5月11日開催の第2回理事候補者選定委員会において理事（理事長）候補者に対する面接を行い、候補者として塚田祥文を選考しました。

2. 選考された理事（理事長）候補者

<氏名>	<年齢>	<前職>
塚田 祥文	66歳	福島大学環境放射能研究所 教授

3. 選考理由

塚田祥文は、これまで日本分析センターや当研究所等の研究機関において研究員として、環境放射生態学研究に携わるなど放射性物質等の環境への影響等環境安全に深い見識を有し、また、平成26年からは福島大学環境放射能研究所の教授として、新たな研究機関の立ち上げや地域との連携を深めるための社会貢献、行政への支援等、機関の管理運営を統括推進しており、その経験及び資質は、当研究所が行っている研究開発の推進、今後の発展に寄与することが期待される。